



6月15日(日)は父の日です。父の日というと、いまいち母の日のインパクトに比べ、少し地味なイメージがありますね 笑。皆さんは父の日にはお父さんに何かプレゼントをしていますか？

父の日は、1900年代初頭にアメリカ・ワシントン州に住む、ソノラ・ブルース・ドットという女性の、父に対する思いから生まれました。

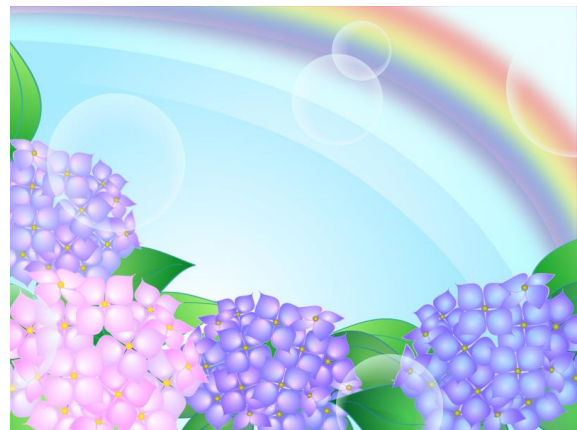
ソノラが幼いころ、父は南北戦争へ行っていました。幼い子供達を一人で育てた母は、父が復員した後に過労で亡くなり、それからは父が男手一つで子育てに奮闘しました。しかしそんな父も、子供たちが成人した後に、この世を去っていきました。南北戦争後の大変な時代を、再婚もせずに懸命に働き、6人の子供たちを育て上げた父の姿を見ていたソノラは、「母の日のように父に感謝する日を」と牧師協会へ嘆願して、父の日が始まったといわれています。

さて、6月4日から10日は、**歯と口の健康週間**です。毎日の丁寧な歯磨きが、むし歯や歯周病を予防します。父の日のプレゼントとして、黄色いバラと共に最新式の電動(音波)歯ブラシをプレゼントしてみてもはいかがでしょうか？

伊藤歯科クリニックからのお知らせ



父の日には電動歯ブラシをあげよう！



伊藤歯科クリニック

住 所 大阪市淀川区東三国5-1-1 近藤ビル2階

電 話 06-6396-5566

診療科目 一般歯科、小児歯科、歯列矯正、審美歯科
インプラント、予防検診、往診 CT完備

交通手段 地下鉄御堂筋線 東三国②番出口徒歩すぐ

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:30 ~13:00	9:30 ~13:00	休診	9:30 ~13:00	9:30 ~13:00	9:00 ~12:30
午後	15:30 ~20:00	15:30 ~20:00	休診	15:30 ~20:00	15:30 ~20:00	14:00 ~17:00
休診日 日曜・休日・水曜						

本当に大丈夫？歯科のレントゲン

福島での原発事故以来、放射能の人体への影響が心配されています。患者さまの中にも、治療で使用するレントゲンの被ばく量を心配される方がいらっしゃると思います。当院では、日頃より、不必要なレントゲン撮影は行わないよう心がけておりますが、より安心して治療を受けていただくために、ご一読いただければと思います。



★歯科のレントゲンは安全なの？

歯のX線検査では、体の障害を心配する必要はありません。自然界から浴びる放射線量は、おおよそ1年間2.4msvです。歯科で使用するレントゲンは、デンタルレントゲンが（小さいX線写真）約0.02msv・パノラマレントゲン（大きなX線写真）が約0.04msvと、自然の放射線量をかなり下回ります。デンタルは1回で何枚も撮影することがありますが、1枚が自然放射量の約1/100という非常に少ない数値ですので、安全です。

★X線は何回まで撮影して大丈夫なの？

歯科のX線撮影は前述のように非常に少ない放射線量ですので、特に回数に制限はありません。1度に17万枚も撮影しなければ皮膚や毛髪などに影響は出ないといわれています。

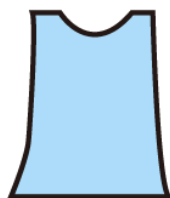
★X線は身体にたまり、ガンになりやすくなるのではありませんか？

X線そのものは身体に蓄積しません。歯科用X線検査の、ガン、白血病が起こるリスク確率は、1回の照射で10000～1億分の1で、無視しても差し支えないレベルです。

★レントゲン写真を撮影した後に妊娠に気付きました・赤ちゃんは大丈夫？

妊娠初期を含めた全期間を通じて、歯科医院で撮影するレントゲン写真は安全と考えて大丈夫です。パントモ撮影でも約0.04msv。東京からニューヨークまでの飛行中に浴びる自然放射線量とほぼ同じです。奇形や精神発達遅延が現れるのに必要な放射線量は50msv以上です。胎児がこれを超える放射線を受けなければ障害は発生しません。ご安心ください。

★レントゲン撮影時のエプロンは、どのような効果があるのでしょうか？



レントゲン写真を撮影する時に着用するエプロンには鉛が入っています。撮影時に鉛でできたエプロンをかけることによって、肺、胃、腸、卵巣などは、放射線による被爆をほぼゼロにすることができます。

エプロン以外にも、レントゲン室の壁やドアの中には鉛が入っており、外部に放射線が漏れないように工夫がされています。特に妊婦の方やお子さんは、安全を期するためにX線を通さない防護エプロンをつけてもらうことがありますが、歯科では線量が少ないのでつけなくても問題ありませんので、ご安心ください。



伊藤歯科クリニック

